

『風邪』の原因を突き止める！

寒さが原因ではないの？

寒い日には、身体が冷えて風邪を引く…。人々は昔から、風邪の原因を「寒さ」だと考えてきました。しかし、時々大流行する風邪。「寒さ」だけでは説明のつかないこともあり、世界中の研究者は風邪の原因を突き止めるために長い時間を費やしてきたのです。

1932年。

ノルウェー北部の北極に近いある島で画期的な研究結果が報告されました。寒くて体が冷えると、風邪をひくのではなさそうです…。

風邪の原因は、人から人への感染

北極に近いこの島では、冬になると海が凍り、船が行き来できなくなって他の島との交流が途絶えてしまいます。凍えるほどの寒さの中、風邪を引く人はほとんどいませんでした。ところが、暖かい春になってまた他の島から船が着くようになると、風邪を引く人が出てくるようになったのです。つまり、風邪の原因は寒さではなく、人から人への感染であることが調査結果として分かったのです。

なぜ風邪は人を介して感染するのか？

イギリスにある「風邪」専門の研究機関、その名も「風邪研究所」のティレル博士。彼は風邪を引いた人の鼻水を、他の人に鼻から吸い込ませ、実際に風邪の症状が出るかどうか見るという実験を行いました。この結果、多くの人が風邪を引き、風邪を引いた人からはかなりの確率で同じウイルスが発見されました。



冬風邪と夏風邪の違いとは？

主な症状

冬風邪:くしゃみ、鼻水、鼻づまり、喉の痛み、発熱

夏風邪:発熱、腹痛、下痢、喉の痛みなど

感染経路

冬風邪:咳やくしゃみによる飛沫感染が多い

夏風邪:経口感染が多い



夏風邪と冬風邪はウイルスが違うため、症状も違ってきます。冬風邪の原因となるウイルスは11月から3月にかけて流行。冬のウイルスは低温、低湿度を好む上、人の抵抗力は体温が0.5度下がると30%も低下するといわれており、冬はウイルスの増殖に最適の環境といえる。一方、夏は高温多湿を好むウイルスが活発に活動します。気温が高く、湿度が多い5月から8月にかけて発症しますが、エアコンや扇風機によって鼻やのどの粘膜が乾燥していることも夏風邪をひきやすくする原因の一つ。